2016.04.28　４月総会用資料

ASK歩く会
弘法山公園･吾妻山コース　桜巡り

世話人(金作･原田･大出･稲田)

開催日　2016年3月31日(木) 晴れ

出発　小田急線　新百合ヶ丘駅

午前　8時55分

解散　午後　2時半（弘法の里湯前）

参加者　15名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒ 秦野駅⇒ 弘法の清水 ⇒ 弘法山公園入口 ⇒ 浅間山 ⇒ 権現山 ⇒ 弘法山(昼食)⇒善波峠の分れ ⇒ 吾妻山 ⇒ 弘法の里湯前(解散)⇒別途「温泉を楽しむ会」⇒新百合ヶ丘駅

0
500m

秦野駅出発

元気よく、出発！

水無川河岸を歩く

水無川で大冒険？

保険適用　第一号は？

弘法の清水

秦野市内には、湧水が多く見られ、その水は古代から人々の暮らしに利用されてきた。
1985年（昭和60年）には、秦野盆地湧水群が環境庁により「全国名水100選」に選定され、湧水群の中で特に有名なのが、この弘法の清水。

弘法山公園入口

いよいよ弘法山公園への登山です・・・・・

浅間山、権現山、弘法山の3つの山を含む地域を弘法山公園という。
桜の名所としても有名で、公園全体で2000本を越える桜がある。

急斜面を登る

なかなかの強行軍

浅間山山頂到着

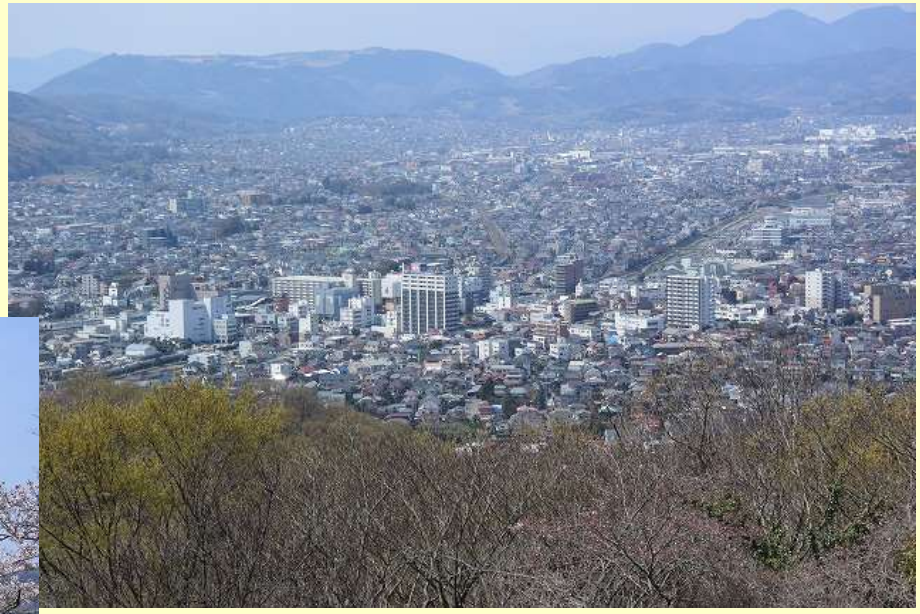
浅間山標高195m

残念ながら本日　四部咲き

権現山山頂到着

権現山標高244m

展望台からの見晴し



アオオサムシに苦戦

綺麗に輝く緑の胴体は美しく、習性とはにつかない妖艶さがある。但し、この仲間は捕まえると匂いと刺激のある液体を噴射し、手などはあまり効かず、臭いだけだが、顔や目などにかかるととんでもない 熱感と刺激がある。

弘法山を目指して

権現山と弘法山を結ぶ尾根道を馬場道と言う。
昔周辺の農民が草競馬を楽しんだことに由来する。

弘法山山頂到着　昼食風景

弘法山標高235m、弘法大師が山頂で修行したことから名づけられたとの伝承がある。

鐘を撞いているのは誰？

時刻を知らせる「時の鐘」として、江戸時代から1956年（昭和31年）まで秦野周辺地域の人々に親しまれてきた。
この鐘は1757年（宝暦7年）に龍法寺6世が最初に鋳造しが、その後、火災などに遭って、再鋳され、現在の鐘は1801年（享和元年）のもの。

最後の吾妻山山頂到着

吾妻山標高125m

弘法の里湯前で解散

この後の、「温泉を楽しむ会」の報告は、別途あり

ご静聴有難うございました

次回の予定は、

４月19日(火)　神楽坂　九段下

ですので、宜しくお願い致します。